

第3学年国語科学習指導案

1 単元名 色彩と象徴から作者の思いを探る～初恋とレモン哀歌～

「初恋」（新しい国語3 東京書籍）

「レモン哀歌」（新しい国語3 東京書籍）

2 単元について

「初恋」と「レモン哀歌」はともに愛する人への思いを歌った詩である。「初恋」では、少年の初めての恋愛から感じられる初々しさや青春の甘酸っぱさの象徴として林檎を用いている。一方、「レモン哀歌」では最愛の妻が臨終の間際に見せた夫への愛情、生命の輝きの象徴としてレモンを用いている。どちらの詩も、色彩語を用いながら、象徴となるものを詩の中に使うという共通点がある。本単元は学習指導要領「C 読むこと」の指導事項「イ文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。」を中心に指導していく。

本単元は、「初恋」で色彩や象徴、表現技法などの見方を習得させる。その上で、「レモン哀歌」で学んだ見方・考え方を活用しながら作者の思いが何であるかを読み解いていく。また、自分の思考や学習してきた様々な見方・考え方を視覚的にわかりやすくするために、「見方・考え方カード」や「見方・考え方シート」を用いる。

3 単元の目標

- ・詩の中に使われている言葉や表現技法の様々な意味を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【知識及び技能】
- ・詩を様々な見方・考え方で批判的に読み、作者の思いや考えを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・様々な言葉による見方・考え方をを用いて視野を広げて作品を読み解こうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・詩の言葉や表現技法などを理解し、二つの詩の象徴するものや情景などを捉えるとともに語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 (1) イ	・詩を様々な見方・考え方で批判的に読みながら、詩の中に込められた作者の思いや考えを理解しようとしている。C (1) イ	・様々な言葉による見方・考え方をを用いて視野を広げながら作品を読み解こうとしている。

5 単元の学習指導計画（全5時間）

- (1) 「初恋」を読み、象徴・色彩などの見方を通して読み解く。（習得） 2時間
- (2) 「レモン哀歌」を読み、様々な見方・考え方を通して多角的に作品を読み解く。
(習得→活用) 3時間（本時3/3時間）

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・様々な言葉による見方・考え方で読みを共有することを通して、それぞれの効果に気づき、詩に込められた作者の願いを多角的に考えることができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 前時の復習をする。 (1) 題名×関連づける (2) 色彩×比較する (3) 表現×比較する (4) 構成×順序づける (5) 象徴×批判する	<ul style="list-style-type: none"> ・(2)に注目すると一般的な死のイメージとは違うことに気づいたな。 ・(3)でなぜその言葉で例えたのかと考えると、作者の妻への気持ちを感ぜられた。 ・(4)に注目すると一連の中に時間の省略があることに気づいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方を意識するために、指定した組み合わせについてカードを使って提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【学習課題】 「レモン哀歌」に込められた作者の願いとは？ </div>		
2 学習課題と本時のゴールを確認する。 3 班でそれぞれの読みを共有する。 4 交流した意見をもとに、学習課題に対する考えを書く。 5 単元の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、前時の一つの見方・考え方の読みから、様々な見方・考え方を通しての読みに広げればよいのだな。 ・(3)の読みを聞くと、自分の色彩での気づきと重なる気づきがある。わざときれい、さわやかと感ぜられる言葉を作者は使っているのか。 ・(4)の気づきでは、時間が省略されていた。死の瞬間から最後の時間まで気持ちの整理をしていたのかな。 ・いつまでも愛する妻の記憶を美しいまま残しておきたいという気持ちが、鮮やかな色彩や美しい比喻表現などに込められている。 ・一つの作品を様々な視点から考えることで読みが深まることを実感した。 ・他の詩や小説を読む時にも見方・考え方を活用してみたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な見方・考え方が可視化できるように、ワークシートを配布し、説明する。 ・机間巡視を行いながら、考えが行き詰まっている班に助言をし、円滑に話が進むようにする。 ・自分の担当した見方・考え方で読みを伝えた上で意見を言い合わせる。 ・様々な見方・考え方で考えたシートを踏まえて、多角的に作者の思いを読み取るよう指示する。 ・習得した読みの力が広く文章に活用できることに気づかせる。

(3) 評価

- ・様々な言葉による見方・考え方を理解した上で、その効果に気づき、詩に込められた作者の願いを多角的に考えることができたか。(観察、ワークシート)